

耐候性試験 17年間相当後でもゴム弾性を持ち、良好な状態を保ちます

■ 試験条件

- ・テストピース シンエツ パッチシール HNS-200 長さ150mm×幅50mm
- ・被着体 ステンレス板(SUS-304)
- ・試験方法 シンエツ パッチシールをSUS板に貼り、外周をシーラントマスター300-Gでシール。
サンシャインウェザーメーターで120分/1サイクル、光源照射中に水を18分間噴射。
1,750時間(6年間相当)、5,000時間(17年間相当)後に物性を測定。

■ 試験結果

シート表面は破損箇所がなく、良好な状態を保っている。5,000時間(17年間相当)経過後は切断時伸びの低下はみられるものの、粘着力は初期より大きくなかった。

項目	時間	初期値	1,750時間(6年間相当)後	5,000時間(17年間相当)後
引張強さ	N/mm ²	8.0	9.7	10.3
切断時伸び	%	400	350	280
粘着力	N/50mm	8.2	10.5	11.1
シート厚さ	mm	1.79	1.73	1.74

(規格値ではありません)

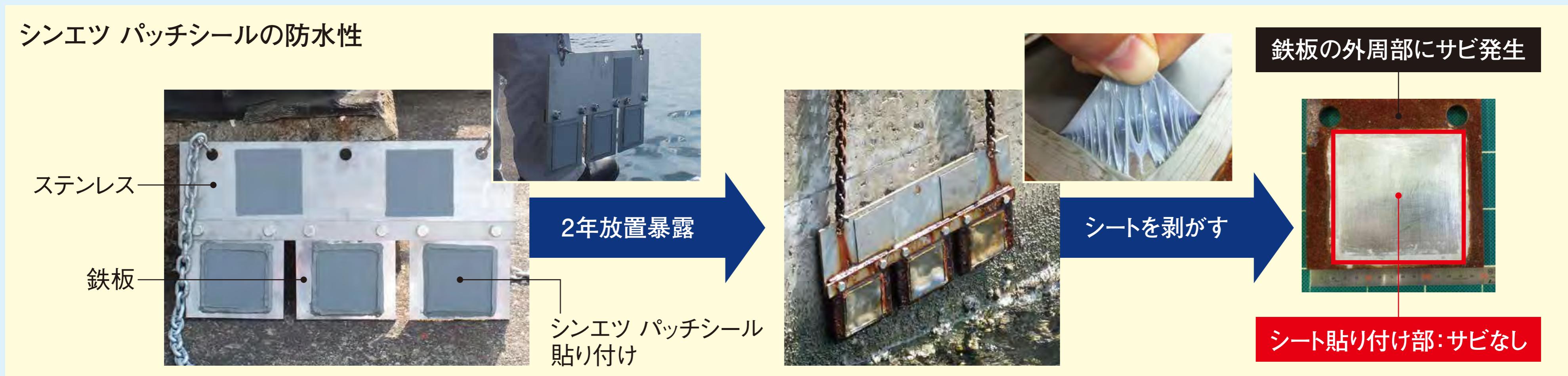
塩害暴露試験 海水の塩害に対してもサビの抑制効果を発揮します

■ 試験条件

- ・テストピース シンエツ パッチシール HNS-200 長さ100mm×幅100mm
- ・被着体 鉄板(SPCC)
- ・試験場所 茨城県鹿島コンビナート内
- ・試験方法 シンエツ パッチシールを鉄板中央部に手で貼り、2年間岸壁の喫水部で放置暴露。

■ 試験結果

2年間の放置暴露後も、シンエツ パッチシールを貼った部分にはサビは発生せず、貼っていない外周部にはサビが発生した。



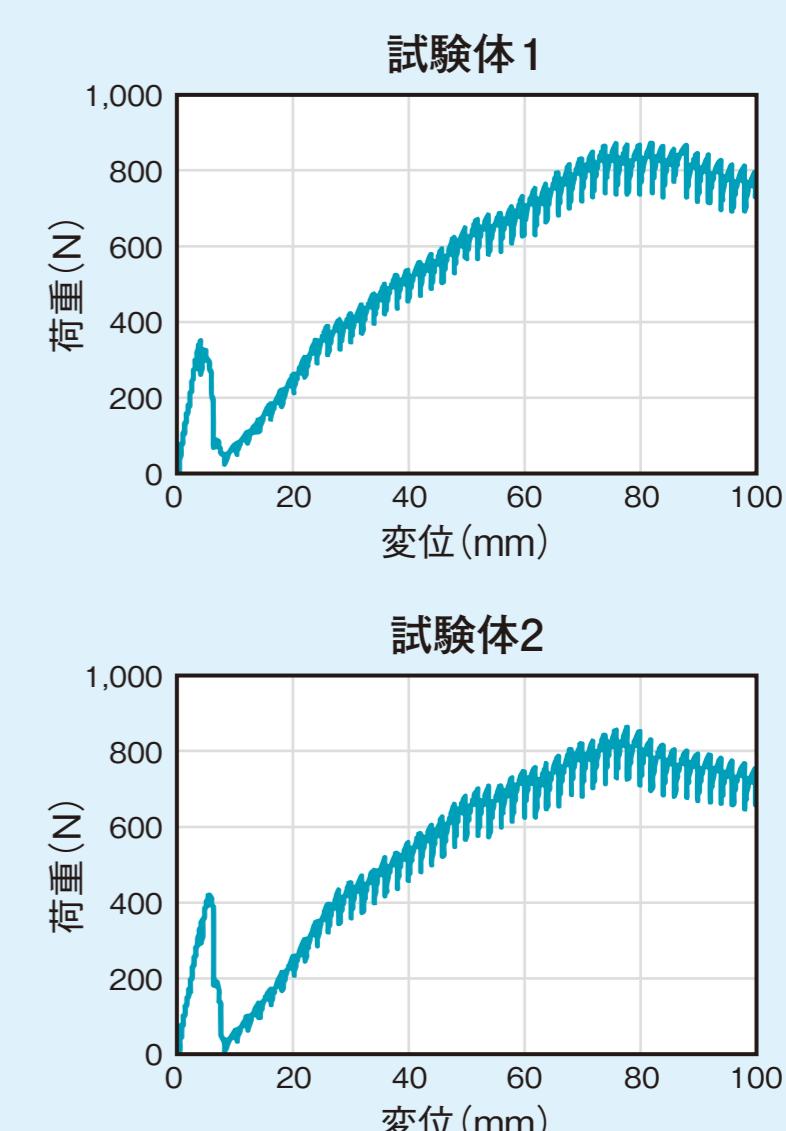
トンネルはく落防止用繊維シート接着工の押し抜き試験

パッチシールクロスは、NEXCO基準(小片はく落対策工)ネット系・樋系工法に適合します

■ 試験条件

- ・テストピース パッチシールクロス HNS-200B 長さ600mm×幅400mm、厚さ60mmを2枚作成。
一つを試験体1、一つを試験体2とする。
- ・試験方法 NEXCO試験方法
第7編 トンネル関係試験方法(平成25年7月)試験方法734-2011
「トンネルはく落防止用繊維シート接着工の押し抜き試験方法」に従って測定。
試験にはインストロン ジャパンカンパニー リミテッド社製の型式Model 5582を使用した。
- ・測定機関 一般財団法人 建材試験センター

■ 変位曲線



■ 試験結果

条件	最大荷重 (変位10mmから50mmまで) N	最大荷重時の変位 (変位10mmから50mmまで) mm	最大荷重 (変位10mmから) N	最大荷重からの変位 (変位10mmから) mm
テストピース				
試験体1	651	50	875	82
試験体2	706	50	888	78

規定値:P=500N D≤50mm

(規格値ではありません)

ShinEtsu



試験体1の試験後の状態